

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-252966

(43)公開日 平成6年(1994)9月9日

(51)Int. Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 L 27/22	C	9297-5K		
H 0 4 J 3/06	Z	8226-5K		
H 0 4 L 7/08	A	7741-5K		

審査請求 未請求 請求項の数9 OL (全 11 頁)

(21)出願番号 特願平5-37641

(22)出願日 平成5年(1993)2月26日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 松岡 昭彦

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(72)発明者 國枝 賢徳

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(72)発明者 山本 裕理

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(74)代理人 弁理士 小瀬治 明 (外2名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 フレーム信号処理装置

(57)【要約】

【目的】 TDMAとデジタル変調方式を用いた無線通信システムの受信器に使用される復調装置に備えられるもので、大きな周波数オフセットが存在する環境下でもフレーム同期信号の元となるフレーム系列相関信号を生成できるフレーム同期相関器を備えたフレーム信号処理装置を提供することを目的とする。

【構成】 直交ベースバンド信号101から差分ベクトルを生成する差分ベクトル生成部102と、ベクトル正規化部103と、正規化した差分ベクトル系列と既知のフレーム同期信号の差分ベクトル系列のベクトル相関をとるベクトル相関部104を備え、2つの差分ベクトル系列の系列相関をとることにより、大きな周波数オフセット環境下でもフレーム同期信号の元となる相関信号を得ることができる。

